

荒川流域の城跡

～地形をよんだ武将たちの戦略が見える～

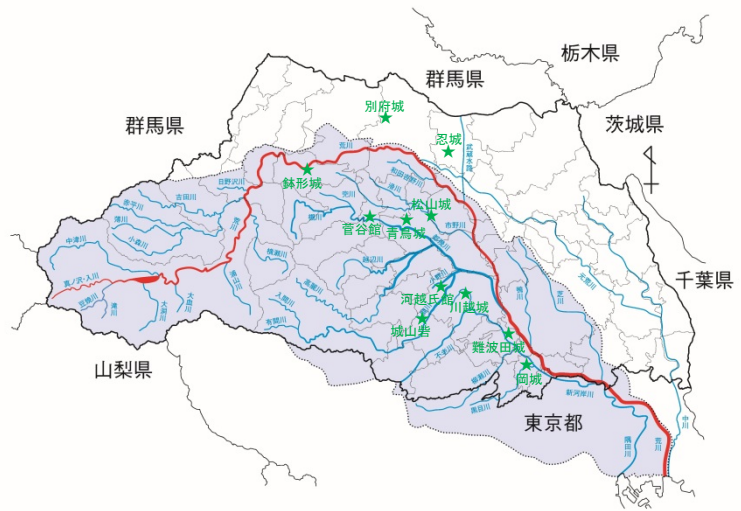
自然の要塞をなす平山城など、いくつもの城跡が残っています。



鉢形城跡



忍城



荒川流域の城跡

荒川流域の代表的な城跡

浸食によってできた断崖絶壁の上に築かれた鉢形城や、水を堀として利用した忍城など、難攻不落を誇った城もあります。

また、交通路を押さえるため築かれたとみられる城など、荒川や支川にはいくつもの城跡が残されています。

城跡	場所	城跡	場所
鉢形城	寄居町	青鳥城	東松山市
別府城	熊谷市	河越氏館	川越市
忍城	行田市	川越城	川越市
菅谷館	嵐山町	難波田城	富士見市
松山城	吉見町	岡城	朝霞市
		城山砦	狭山市

▶ 戦国史の舞台をかざった代表的な平山城（鉢形城）

鉢形城は、1476（文明8）年、関東管領であった山上上杉氏の家臣長尾景春が荒川の上流部（現寄居町）に築城したと伝えられており、のちにこの地域の豪族藤田泰邦に入婿した小田原の北条氏康の四男氏邦が整備拡充した関東地方において有数の規模を誇る城です。

1590（天正18）年、豊臣秀吉は、当時関東周辺を支配していた北条氏を攻めるため、小田原に兵を進めました。

北条氏の支城となっていた鉢形城にも軍勢が押し寄せ、城主である北条氏邦は籠城策をとり、最終的には5万もの軍勢が鉢形城を包囲しました。氏邦は家臣の助命が認められたため、鉢形城を明け渡し降伏しました。

城跡は、西南旧折原村を大手口とし、東の旧鉢形村を搦め手としています。本丸、二の丸、三の丸、秩父曲輪、諏訪曲輪などがあり、西南部には侍屋敷や城下町の名前が伝えられ、寺院や神社があり、土塁や空堀が残っています。

現在では鉢形城公園となっており、園内には鉢形城歴史館もあり、歴史や城の構造を映像などを交えて分かりやすく紹介しています。



鉢形城本丸跡

▶ 城山砦跡 入間川を見下ろす断崖絶壁上の砦

狭山市内唯一の中世城郭で、面積は約7000平方m。1545（天文14）年9月から約半年にわたり、上杉憲政が陣を敷いたため、別名を「上杉砦」と呼ばれています。憲政がここに着陣したのは、1537（天文6）年7月に小田原（神奈川県）を本拠とする北条氏の手で落ちた川越城を奪い返すためでした。なお、この砦跡に対し、鎌倉時代に畠山重忠に従った柏原太郎の館跡ではないか、とも言われています。柏原太郎は、源頼朝が行った奥州藤原氏の征伐に従った武蔵武士で、重忠の従軍5騎のうちの1人です。また一説によると、南北朝時代に鎌倉公方の足利基氏が入間川に滞陣した際の出城とする説などもあります。狭山市指定文化財。埼玉県選定重要遺跡。



城山砦跡

アクセス

鉢形城（左）

交通：東武東上線「寄居駅」下車、徒歩約20分

住所：埼玉県大里郡寄居町大字鉢形

城山砦跡（右）

交通：西武新宿線「狭山市駅」下車、西武バス「埼玉牧場」行き「坂上」下車、徒歩約10分

住所：狭山市柏原2376番地



鉢形城



城山砦跡

